世界の気候と文化

名前

問1　モンゴルの草原で見られる伝統的な住居「ゲル」は、その土地の自然環境や人々の生活スタイルと密接に関わっています。ゲルが円形の組み立て式であり、持ち運びが容易な構造になっている最大の理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 森林資源が乏しいため、限られた木材で空間を広く確保しようとしたから
2. 砂漠化の影響で風が強いため、角のない形状にして風の抵抗を抑える必要があるから
3. 夏の極端な高温から身を守るために、風通しの良いテント状の布が必要だから
4. 家畜の餌となる草を求めて、時期によって住む場所を変える必要があるから

問2　地中海沿岸の都市の統計において、夏季にあたる7月・8月の気温が高く、かつその時期の降水量が極端に少ないという特徴を持つ気候区分を何といいますか。雨温図で判断する際の名称を答えなさい。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. 地中海性気候
2. 温暖湿潤気候
3. ツンドラ気候
4. 西岸海洋性気候

問3　イタリアなどの地中海沿岸に見られる「地中海性気候」の雨温図（気温と降水量のグラフ）の特徴として、正しい説明はどれか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 一年を通して気温の変化がほとんどなく、毎月一定以上の激しい降水が見られる。
2. 夏季にあたる7月頃の気温が高く、その時期の降水量が極端に少なくなっている。
3. 冬季にあたる1月頃に気温が氷点下まで下がり、降水量が夏季よりも大幅に増加している。
4. 夏季にあたる7月頃に湿った季節風の影響を強く受け、降水量が一年で最も多くなっている。

問4　ヨーロッパ西部のパリなどの統計において、最暖月の平均気温が約20度、最寒月が約5度と気温の年較差が比較的小さく、降水量が年間を通じて毎月50ミリメートル前後で安定している気候区を何と呼びますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 温暖湿潤気候
2. ツンドラ気候
3. 西岸海洋性気候
4. 地中海性気候

問5　熱帯地域などで見られる、森林や草原を焼き払い、その際に生じた灰を肥料として利用する伝統的な農業を何といいますか。（2019年 山口県公立入試 類似）

1. 棚田農業
2. オアシス農業
3. プランテーション
4. 焼畑農業

問6　世界の諸地域で見られる宗教儀礼や生活習慣について述べた次の文のうち、イスラム教の信者が多く住む地域で見られる特徴として最も適切なものはどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 教義によって、豚肉を食べることを禁止している。
2. 牛を神聖な動物として扱うため、牛肉を食べることを避けている。
3. ガンジス川で身を清めることを聖なる儀礼としている。
4. イエス・キリストの降誕を祝うクリスマスを、宗教的な年間行事としている。

問7　世界の住居に見られる「高床式」の建築様式について、シベリアなどの寒冷地で見られるものと、東南アジアなどの熱帯で見られるものを比較した記述として正しいものはどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）

1. シベリアの高床式は永久凍土が溶けて地盤が緩むのを防ぐ目的であり、熱帯の高床式は風通しを良くし湿気や害虫を防ぐ目的である。
2. シベリアの高床式は積雪による建物の倒壊を防ぐ目的であり、熱帯の高床式はスコールによる洪水被害を防ぐ目的である。
3. シベリアの高床式は床下に家畜を飼育する空間を作る目的であり、熱帯の高床式は猛獣の襲撃から身を守る目的である。
4. シベリアの高床式は地面からの放射冷却を防ぐ目的であり、熱帯の高床式は地面からの反射熱を避ける目的である。

問8　近年、日本の飲食店や食品メーカーにおいて、イスラム教の教えに従った食品であることを示すマークを商品やメニューに表示する動きが広がっています。このような取り組みが行われる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）

1. 仏教の影響を強く受けた日本において、肉や魚を使わない伝統的な食文化を海外に普及させるため
2. 一定の期間、飲食を断つ修行を行う人々のために、栄養価の高い特別な食材であることを証明するため
3. 特定の地域で生産された農産物について、その品質が国際的な基準を満たしていることを保証するため
4. グローバル化に伴いイスラム圏からの観光客や移住者が増え、宗教上の習慣に配慮した食事の提供が必要になったため

問9　日本からアルゼンチンのブエノスアイレスへ一月に旅行に行く際、現地の気候を考慮した準備として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 石川県公立入試 類似）

1. 南半球では一月が最も寒くなる時期であるため、日本の冬と同様に厚手のコートなどの防寒着を準備する。
2. 高緯度の冷帯（亜寒帯）に位置するため、一月でも氷点下になることを想定して本格的な冬装備を準備する。
3. 赤道に近い熱帯の都市であるため、季節の変化は考えず、激しい雨に備えた雨具を中心に準備する。
4. 南半球に位置し日本とは季節が逆転するため、現地の夏に合わせた半袖などの軽装を準備する。

問10　地中海沿岸の地域では、夏の乾燥と冬の降水という気候の特色に合わせた「地中海式農業」が行われています。この農業様式における作物の栽培方法の説明として、最も適切なものを選択してください。（2017年 大阪府公立入試 類似）

1. 夏の乾燥に強いぶどうやオリーブなどを栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培する。
2. 夏の高温多湿な気候を利用して稲作を行い、冬の裏作として小麦を栽培する。
3. 家畜の飼育と、その飼料となるトウモロコシやてんさいの栽培を組み合わせる。
4. 広大な土地に大規模な灌漑設備を整え、輸出用として綿花やバナナを単一栽培する。

問11　日本、アメリカ合衆国、中国の3か国において、各国の発電電力量に占める割合が共通して最大となっている発電方式と、その理由を述べた文として適切なものを選びなさい。（2026年 鳥取県公立入試 類似）

1. 水力発電：広大な国土や急峻な地形を活かし、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして最優先されている。
2. 火力発電：膨大な電力需要を安定的にまかなうために、石炭や天然ガスなどを燃料とする方式が主力となっている。
3. 原子力発電：化石燃料の価格変動に左右されず、低コストで大量の電力を供給できるため、最も高い割合を占めている。
4. 再生可能エネルギー：地球温暖化対策として急速に設備導入が進んだ結果、従来の火力発電の割合を既に上回っている。

問12　乾燥地域で見られる「遊牧」と呼ばれる生活形態の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 広い牧場を柵で囲い、牛や馬を放し飼いにして肉や乳製品を大量に生産する。
2. 自然の条件に合わせて水や草がある場所を探し、家畜と一緒に移動しながら生活する。
3. 熱帯の森林を焼き払ったあとの土地に、灰を肥料として利用してイモ類などを栽培する。
4. 特定の場所に定住し、地下水路などを利用してオアシスで小麦や綿花を栽培する。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 家畜の餌となる草を求めて、時期によって住む場所を変える必要があるから	乾燥した草原地帯では、同じ場所に留まり続けると家畜が周囲の草を食べ尽くしてしまいます。そのため、遊牧民は常に新鮮な牧草地を求めて移動し続けなければなりません。このような「遊牧」という生活様式において、簡単に解体して次の場所へ運べるゲルのような移動式住居は、生存に不可欠な知恵として受け継がれてきました。
問2	答え 1 地中海性気候	地中海性気候は、温帯の中でも夏季に亜熱帯高圧帯の影響を強く受けるため、気温が高く乾燥し、冬季には偏西風の影響で雨が降るという独特のパターンを持ちます。雨温図上では、気温のグラフが山型になる時期（北半球の場合）に降水量の棒グラフが極端に短くなることで判別できます。
問3	答え 2 夏季にあたる7月頃の気温が高く、その時期の降水量が極端に少なくなっている。	地中海性気候は、夏に「亜熱帯高圧帯」と呼ばれる高気圧の圏内に入るため、気温が上がる一方で雨がほとんど降らず乾燥するのが最大の特徴です。この時期の乾燥に耐えるため、オリーブやぶどうなどの硬葉樹の栽培が発達しています。逆に冬は、温帯低気圧や偏西風の影響を受けて一定の雨が降ります。
問4	答え 3 西岸海洋性気候	この気候は中緯度のユーラシア大陸西岸などで見られるもので、偏西風と北大西洋海流（暖流）の影響を強く受けています。夏は涼しく冬は緯度のわりに温暖で、年間を通して安定した降水があるのが大きな特徴です。夏に乾燥する地中海性気候や、季節風の影響で年較差が大きい温暖湿潤気候と区別する必要があります。
問5	答え 4 焼畑農業	熱帯の土壌は、多量の雨によって養分が流されやすいため、作物の生育に必要な栄養分が不足しがちです。そのため、木々を焼いて得られる灰を天然の肥料として活用し、カッサバやヤムいも、トウモロコシなどを栽培する工夫がなされてきました。数年間耕作して土地の力が衰えると、別の場所に移動して自然の回復を待つという循環的な仕組みが特徴です。
問6	答え 1 教義によって、豚肉を食べることを禁止している。	イスラム教は生活規律が厳格な宗教であり、聖地メッカへの礼拝のほかに、食事においても豚肉を避けるという明確な禁忌が存在します。選択肢にあるガンジス川での身の清め（水浴）や牛を神聖視する習慣はヒンドゥー教に見られるものであり、キリストの降誕を祝う行事はキリスト教の文化です。地理的な広がりとともに、それぞれの宗教特有の生活文化を区別して理解することが重要です。
問7	答え 1 シベリアの高床式は永久凍土が溶けて地盤が緩むのを防ぐ目的であり、熱帯の高床式は風通しを良くし湿気や害虫を防ぐ目的である。	同じ「高床式」という建築様式でも、気候帯によってその目的は大きく異なります。シベリアのような寒冷地では、建物からの熱が永久凍土に伝わるのを防ぐという、地盤の安定を目的とした合理的な工夫です。一方で熱帯地域の高床式は、高温多湿な環境における通気性の確保や、地面からの湿気、不快な害虫の侵入を防ぐために行われており、それぞれの地域の環境に適応した知恵といえます。
問8	答え 4 グローバル化に伴いイスラム圏からの観光客や移住者が増え、宗教上の習慣に配慮した食事の提供が必要になったため	世界には多様な宗教や文化を持つ人々が生活しており、イスラム教徒にとっては教義に基づいた食事（ハラール）の確保が不可欠です。日本を訪れるムスリムの増加や多文化共生社会への対応として、レストランなどがハラール認証を受けることで、誰もが安心して食事ができる環境づくりが進められています。
問9	答え 4 南半球に位置し日本とは季節が逆転するため、現地の夏に合わせた半袖などの軽装を準備する。	アルゼンチンは南半球に位置するため、北半球にある日本とは季節が正反対になります。日本で最も寒い時期の一つである一月は、南半球では太陽の高度が最も高くなる時期にあたり、季節は夏となります。したがって、一月のブエノスアイレスを訪れる際は、夏の暑さに備えた服装が必要となります。また、ブエノスアイレスは温帯に属しており、四季の変化が明確です。
問10	答え 1 夏の乾燥に強いぶどうやオリーブなどを栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培する。	地中海性気候は、温帯の中でも夏に降水量が少なく乾燥し、冬にある程度の降水があるのが特徴です。そのため、夏には乾燥に強い樹木作物であるぶどう、オリーブ、柑橘類などを栽培し、比較的雨のある冬に小麦を栽培するという、気候に適応した農業形態が発達しました。家畜の飼育と飼料作物を組み合わせるのは混合農業の説明であり、多湿な環境を利用するのはモノ（季節風）アジアの農業の特徴です。
問11	答え 2 火力発電：膨大な電力需要を安定的にまかなうために、石炭や天然ガスなどを燃料とする方式が主力となっている。	工業化が進み、人口も多い日本、アメリカ合衆国、中国などの経済大国では、極めて大きな電力需要が存在します。火力発電は、天候の影響を受ける太陽光や風力などの再生可能エネルギーに比べて出力が安定しており、大規模な発電が可能なため、現在も主要な電源として利用されています。特に中国やアメリカ合衆国では、国内で産出される安価な石炭や天然ガスを有効活用できるという資源背景も影響しています。
問12	答え 2 自然の条件に合わせて水や草がある場所を探し、家畜と一緒に移動しながら生活する。	遊牧は、降水量が少なく樹木が育たない乾燥帯の環境に適応した、伝統的な牧畜の形式です。家畜は食料（肉や乳）だけでなく、移動手段や衣服の材料としても重要な役割を果たします。選択肢にある「特定の場所に定住する」ものはオアシス農業、「柵で囲い大規模に飼育する」ものは新大陸などに多い放牧、「森林を焼き払う」ものは熱帯の焼畑農業の特徴です。